



南無大慈大悲観世音菩薩

周防国三十三観音霊場



大内家紋 大内産

雄大な瀬戸内海・周防国とともに歴史・文化の香り
「周防国三十三観音霊場」
一念發起
山門・参道各通り投所目指す観音尊像
「南無大慈大悲観世音菩薩」
唱えればあなたの心を受け止める観音尊像
心静かに奏える「周防国三十三観音霊場」
あなたも参りませんか。

- 周防観音巡拝モデルコース■**
- 1日目**
1 二井寺-2 長宝寺-3 松尾寺-4 普門寺
- 昼食(大島)-5 普慶寺-6 般若寺-7 福楽寺
-8 蓮池寺
- 2日目**
9 長徳寺-10 安国寺-11 蓮台寺-12 關伽井坊
-13 日天寺- 昼食(下松)-14 福田寺-15 蓮宅寺
-16 岩屋寺-17 建映院-18 川崎観音
- 3日目**
19 普春寺-20 瀧谷寺-21 木部観音-22 極楽寺
-23 光明寺- 昼食(防府)-24 満願寺-25 天徳寺
- 4日目**
26 観音寺-27 顕孝院-28 清水寺-29 神福寺-
- 昼食(山口)-30 洞春寺-31 普門寺-32 大林寺
-33 龍蔵寺

■納経のご案内■

■巡拝用品のご案内
周防国三十三観音霊場会では巡拝用品をご用意しております。ご希望の方は事務局までお申し込みください。

■ご朱印について
本堂・観音堂でお参りの後、参詣の証として「ご朱印」を頂いて下さい。

- ・納経帳 1,000円
- ・納経料 300円

※札所巡りする際には、各納経所の開所時間をご確認ください。
※納経帳には、必ずお名前をご記入ください。

～詳しいお問い合わせは～
周防国三十三観音霊場会事務局
〒745-0851
山口県周南市大字徳山4718 福田寺内

Tel 0834-21-2992 FAX 0834-33-8698
e-mail info@suoukoku33.net
HP www.suoukoku33.net



◆周防国三十三観音霊場◆

第1番	二井寺	岩国市周東町用田 866	☎0827-84-3162
第2番	長宝寺	岩国市周東町祖生 1732	☎0827-85-0401
第3番	松尾寺	大島郡周防大島町東三浦 2178	☎0820-74-3027
第4番	帶石観音	大島郡周防大島町日前	☎0820-73-0549
第5番	普慶寺	柳井市柳井姫田 12-1	☎0820-22-8410
第6番	般若寺	熊毛郡平生町字佐木 1166	☎0820-56-3636
第7番	福楽寺	柳井市余田 1112	☎0820-22-6588
第8番	蓮池寺	熊毛郡田布施町川西 1233	☎0820-52-2977
第9番	長徳寺	光市立野 1451-1	☎0833-77-1646
第10番	安国寺	周南市大字原 593	☎0833-91-0164
第11番	蓮台寺	下松市久保市山田梅ノ木原	☎0833-44-8409
第12番	關伽井坊	下松市末武上 398	☎0833-44-8409
第13番	日天寺	下松市末武上 917	☎0833-44-8400
第14番	福田寺	周南市徳山 4718	☎0834-21-2992
第15番	蓮宅寺	周南市上下岩屋 2215-1	☎0834-62-5447
第16番	岩屋寺	周南市上下岩屋 2215-1	☎0834-62-5447
第17番	建映院	周南市土井 1-5-1	☎0834-62-2427
第18番	川崎観音堂	周南市川崎 2-1-41	☎0834-63-0378
第19番	普春寺	周南市夜市伊賀 170	☎0834-63-4194
第20番	瀧谷寺	防府市富海 1590	☎0835-34-0058
第21番	木部観音堂	防府市平礼上木部 677	☎0835-38-0602
第22番	極楽寺	防府市岩島 2-19-1	☎0835-38-0602
第23番	光明寺	防府市真尾 1609	☎0835-36-1167
第24番	満願密寺	防府市迫戸町 11-1	☎0835-22-5225
第25番	天徳寺	防府市下右田 668	☎0835-22-2854
第26番	観音寺	防府市台道 2634	☎0835-32-1900
第27番	顕孝院	山口市鑄銭司 3919	☎083-986-2202
第28番	清水寺	山口市宮野下 1127	☎083-924-3380
第29番	神福寺	山口市八幡馬場 813	☎083-924-3380
第30番	洞春寺	山口市水の町 5-27	☎083-922-1028
第31番	普門寺	山口市白石 3-4-1	☎083-922-4821
第32番	大林寺	山口市朝倉 3-14	☎083-922-7264
第33番	龍蔵寺	山口市吉敷 1750	☎083-924-1357

周防国三十三観音霊場MAP



西国とうつし置いた面の京：
大内公の観たもの：
周防三十三観音をお参りして、
心の荷物を降ろし
信仰・観光・健康の三光を得て
豊かな日々暮らしを。

■沿革・概要
心の中に人はさまざまな願いを秘めて仏の姿を仰ぎ、ご利益に浴する旅立ちの姿が巡礼の大儀の慣わしとなり、太古の歴史に息づいて来たが、今日では交通機関の発達や経済的な余裕に加え、何かと旅することが多くなった。

それは観光を兼ねた史跡の散策であり、古寺名物の物見遊山であつても、そこには華やいた歴史の蹤跡と相俟つて時代の流れを髣髴とさす信仰の姿が感じられる。

西国巡礼の始まりは、養老年間(718)に遡り、大和長谷寺の徳道上人が重病で仮死状態の時、閻魔王が観音巡礼を教え、その証として印を渡されこの世に戻った。その後徳道上人が観音巡礼を始めたこと伝えられている。

その後、正暦二年(991)花山法皇が那智山に千日籠り、満願成就の結縁に仏眼上人、性空上人、弁光上人を先達によつて順拝されたのが隆盛の礎となつている。

周防国三十三観音霊場は室町時代の初期大内弘世(大内二十四代)が西国霊場を模して、周防地域の霊地霊場に勧請し「西京」の守護として尊崇したものである。

合掌